

# おともがわ

学校報 NO, 42

保護者版

平成29年 1月17日

みんなで育む豊かな心・健やかな体・確かな学力

24日間の冬休み中に大きな事故・病気等の報告もなく、みんなが元気に後期後半のスタートを切ることができ、嬉しく思うとともに感謝申し上げます。今年も引き続きご支援・ご協力の程宜しくお願い致します。

## 集団登下校



先週金曜日の一斉メールでもお知らせしましたが昨日、朝の降雪時の登校(左2枚写真)が嘘のように晴れ渡った中で、雪道の歩き方や通学路の点検を兼ねて担当職員が同行し集団下校を行いました(右写真)。

今後も冬の厳しい天候が続く中での登下校になりますので、「早寝・早起き・朝ごはん」をしっかり行わせて頂きたいと思ひます。



## 平成29年 第53回 大曲仙北児童生徒新年書初め展

冬休み前に応募があった表題の書初め展には、硬筆の部に1・2年生全員が出品して、金賞・銀賞を受賞しました。毛筆は半紙と条幅の部があり金賞以上の作品が冬休み中にイーストモールに展示されました(下記に記載しました)。合わせて右や下のコンクール等も昨日の集会で賞状を伝達しました。



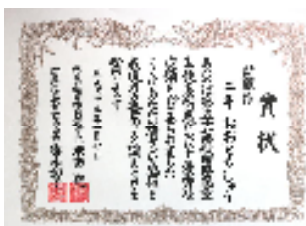
### 【半紙の部】

- 特選 ○○○○(4年)
- 金賞 ○○○○ ○○○ ○○○○(4年)
- (5年),
- ○○○○(6年)

## 第35回全国児童絵画コンクール

(毎日新聞社・日本児童画振興会主催 文部科学省後援)

- 入選 ○○○○(1年)



## 第57回秋田県児童生徒美術展

- 話題作 ○○ ○○(2年)
- 入選 ○○○○○(2年)
- 入選 ○○ ○○(2年)

県内305校・園から3,812点の応募があった中から選ばれたようです。おめでとうございます。  
話題作については裏面を!!



話題作品とは、今年度の推奨作品の中でも特に注目された作品のことです。今回は、小・中学校は各学年4点、幼稚園・保育園2点が選ばれたようです。

今回の話題作品は、秋田県造形教育研究会から

- ①本研究会主催行事等における参考作品として例示のため
- ②本研究会ホームページへの掲載のため
- ③平成30年度 第71回全国造形教育研究大会秋田大会展示のためとの理由で、平成30年8月31日までお貸し頂きたいとの申し出がありました。

←0000さんの作品「くるりんくるくるの家」

~~~~~ 冬休み明け集会でこんな事をお話ししました ~~~~~

## 「心・技・体＋生活」を大切に

家族みんなの笑顔が大切で冬休みを過ごせましたか。家族や親戚の人と和食についてお話しする機会がありましたか。さて、世界を支える一人の人間として成長するために、どんな目標を立てましたか。いろいろな目標がありますね。

それでは、皆さんが立てた目標を達成できるように充実した毎日にするには、具体的にどんなふうに過ごしたらよいのでしょうか。

スポーツのことも目標にしている人もいるようなので、スポーツについて考えてみたいと思います。まずは、投げる・走る・捕る・打つ・押す・引くの「技」＝「技術」が低いと勝てません。その技をもとにしっかりと戦える「体」＝「体力」がなければ「技」は活かせません。それでは「技」＝「技術」と「体」＝「体力」が備わっていれば勝てるのでしょうか。どう思いますか。そうですね。

ここぞというときに「失敗した（負けたら）らどうしよう」と思う気持ちが湧いてくると、技術や体力を活かすことはできません。失敗しない（負けない）という「心」＝「精神力」が必要です。これは「心・技・体」といって「精神力と技術と体力」の3つが大事だということを表しています。

ところで皆さんはこのポーズを知っていますか。そうですね。ラグビーの五郎丸選手がキックをする前の動き（ルーティーン）はおなじみですね。イチロー選手も様々のルーティーンがあるようですが、「ロッカーに戻るとすぐスパイクを磨く」「オイルを使ってグローブの手入れをする」などのルーティーンは、使用後の用具に感謝をこめて向き合うことなので素晴らしいことだと思います。

先程いったように、日常で目標達成のため、「心・技・体」が大切であることは分かれますが、イチロー選手を始め多くの選手の活躍についてテレビや新聞などで秘話を聞いたりして私は、「さらにもう一つとても大切なことがある」と確信しています。それは、好結果を残す選手は例外なく生活面でもきちんとしているということです。つまり、「心・技・体」に「生活」が加わった「心・技・体＋生活」が大切だということです。日常生活で何気ないけれど大切なことを毎日欠かさず続けるということです。「下駄箱の靴を揃える」「元気よく挨拶をする」「自分で使った食器は自分で片付ける」など、日常の中で、自分で決めたことを毎日、意識して真剣に取り組むようにするのは、

一度これらを続ける習慣ができあがると、その習慣はずっと続きます。そして、続けなければ続けるほどやめたくない、サボりたくないという気持ちになります。更に続けていくと自信になります。このようにして生活習慣で育んだ自信ある強い心は、スポーツに限らず、学校生活の中でも学習を始め、あらゆる事に対する粘り強さとなり、自然と良い結果につながるものです。これからの生活をしっかり見つめ直しながら学校生活を始め、「普段の生活をよりよく行う」を今年もしっかり取り組みましょう。